

中学校数学 解答例

1	(1)	①	日常			②	処理			③	数学			各3点 ×6
		④	統合的			⑤	表現			⑥	説明			
	(2)	⑦	ウ	⑧	オ	⑨	ア	(3)	(例)関係する二つの数量について、一方の値を決めれば他方の値がただ一つ決まるような関係				(2)各3点 ×6 (3)7点	
		⑩	イ	⑪	エ	⑫	カ							
2	(1)	(例)生徒の中には、2けたの自然数の各位の数を文字に置き換えただけの生徒や十の位の数が表す大きさを捉えていない生徒がいると考えられる。											7点	
	(2)	(例)数量の関係や法則などを数や言葉の式、□、△などを用いた式に表してその意味を読み取ったり、数を当てはめて調べたりする活動を行うなどして、文字のもつ一般性について丁寧に取り扱い、文字に対する抵抗感を和らげながら漸次理解することができるようにする。											7点	
3	(1)	$(2x + y - 1)(3x + 2y + 1)$											6点	
	(2)	$S =$	3π				$AC =$	2				各3点 ×2		
	(3)	$18\sqrt{2}$											6点	
	(4)	0.9											6点	
	(5)	①	$x = -\frac{3}{2}$				②	$x = 5$				各3点 ×2		
	(6)	$\theta = \frac{\pi}{4}$											6点	
	(7)	(例)△ABCの辺AB上に、AC=ADとなるような点Dをとる。 ∠ADC=∠ACD=aとすると、∠Aの外角は2aである。 BQ:QC=AB:ACのとき、 BQ:QC=AB:ADとなるから、AQ∥DCである。 よって、∠QAC=∠ACD=a したがって、AQは∠Aの外角の二等分線である。											7点	